



社会福祉法人 宮城厚生福祉会

介護老人福祉施設 十符・風の音
地域密着型特別養護老人ホーム 風の音サテライト

風 ぐるま

第45号
2019.10

8月24日に第14回となる風の音ふれあいまつりが行われました。
令和初の開催となった今回、例年とはちょっと趣向を変えての開催となりましたが、松山太鼓の迫力のある音色で幕を開け、輪投げや魚釣りゲームを楽しんだり、ホールに集まって御食事をしたり、民謡に耳を傾けたりと、今年も良い夏の思い出となりました。



第14回
風の音ふれあいまつり

2019.8.24



紅葉団・桜団



汐団・椿団



月見団・日向団



夏の暑さにも負けず、毎年恒例のイベントを楽しんでいただきました。

皆様の沢山の笑顔がありました。

ショートステイ山吹

まつり

歌や太鼓の演奏を聞かれた後、一番に食べ物を買う方、ゲームに挑戦する方など、皆様それぞれの形で楽しく参加されています。



輪投げ



魚釣り



わたあめ



とん汁 おにぎり

抽選会



何等が
出るかな？



お団子



6等



3等



2等



1等

花火大会

まつりの締めくくりに花火を行いました。
「懐かしいね」「子供に戻ったようだ」と思い出話をしながら皆様楽しんでいました。



風の音 サテライト史



お花のある暮らし



3丁目ではボランティアさんと一緒にフラワーアレンジメントを行いました。お花があると自然と心が豊かになります。活かしたお花は自分の部屋に飾り、楽しんで頂きました。

誕生日

主役の願い「日本酒が飲みたい! 刺身が食べたい!」という訳で、大好きなものを用意し、お祝いをしました。いつまでも「自分の好き」を大切にしていきたいです。ご家族と記念撮影は少し照れくさそうに…なかなか良いショットが撮れました。



おたしらしく



入居者様の状態や体調を見ながら、「その人らしさ」を大切に日々の暮らしをお手伝いしています。



風の音委員会活動



◆ 事故対策委員会

「ユニットで起きた事故やヒヤリハットを全体で確認し、再発防止策を検討しています。また搜索訓練や身体拘束廃止、リスクマネジメントについての勉強会も開催しています。」

◆ ボランティア委員会

「町内会で行われる行事のお手伝いや、ボランティアさんとの交流を行なっています。」

◆ 感染・褥瘡予防委員会

「入居者様の皮膚状態や栄養状態、ベッドのマットレスの種類を把握し褥瘡予防に取り組んでいます。季節ごとに食中毒やインフルエンザなどの感染症蔓延予防のために勉強会も開催しています。」



◆ 生活向上委員会

「食事の種類や排せつケアに関して、その方の状態にあったものを提供できるよう検討しています。また、年に一度プライバシーについての勉強会を開催しています。」

◆ 社会保障委員会

「社会情勢の学習を中心に、原水爆禁止世界大会へ参加者を送り出すためのカンパ活動などを行なっています。」

KurannKeri
-クランケリ-

閉店のお知らせ



9月を持って
閉店となりました。
たくさんの御来店
ありがとうございました。



編集後記

今回の広報誌は風の音かれあいまつりの様子をメインに構成しています。例年より規模を縮小しての開催となりましたが、おおいに盛り上がりました。ご協力頂きました皆様に感謝致します。さて、秋も深まり紅葉シーズンとなりました。たくさんある秋の楽しみを満喫したいですね。

広報委員

皆川和詞／渡邊綾子／大木望／小野寺順／遠藤歩実／岡本直也

今回は、「認知症」について少しだけ詳しくご紹介をしてみたいと思います。

認知症とは「生後いったん正常に発達した種々の精神機能が慢性的に減退・消失することで、日常生活・社会生活を営めない状態」と定義されています。「認知症」という病名があるわけではありません。あくまで病名です。病名とは、「病名にかかっている様子や病気の具合の事」です。主な原因は、脳出血や脳梗塞などの「脳血管障害」、「アルツハイマー型認知症」、「前頭側頭型認知症」、「レビー小体型認知症」などがあります。

症状として、「中核症状」と「行動・心理症状」の2種類があります。「中核症状」とは記憶・見当識・判断力・実行機能の障害のことで、治ることはありません。認知症になると、必ずいずれか若しくは全ての症状が現れます。「行動・心理症状」とは、徘徊・妄想・幻覚・無気力・攻撃性・うつなどがあります。認知症になつたから必ず現れる症状ではなく、心身の不調・ストレス・不適切な対応・不安感などが引き金になります。

特に「行動・心理症状」が悪化すると、介護者に大きな負担となります。接し方を見直したり、環境を変えたりすることで緩和することもありますが、悪化する場合はかかりつけ医若しくは認知症の専門医に相談することをお勧めします。

コラム